

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学物質等の名称 DAP(第二リン酸アンモニウム)

製造者	Wengfu Intertrade Limited(瓮福国际贸易股份有限公司)
住所	17 Floor, Wengfu International Plaza, No.,57 Shinan Road, Guiyang 550005, Guizhou Province, P. R. China
電話番号	+86-851-85513300 +86-851-88653999
緊急時の電話番号	+86-851-85513300 +86-851-88653999
供給者	会社名 全農グリーンリソース株式会社
	担当部署 肥料事業部 原料部
	住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-2-6 住友不動産麹町ファーストビル 8 階
	電話番号 03-5209-1215
	FAX 番号 03-3255-1123
	メールアドレス sales_materials.dept@zgr.jp
	緊急時の電話番号 03-5209-1215
	会社名 全農グリーンリソース株式会社

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

データなし。

健康に対する有害性

眼刺激性

直接眼に入ると、刺すような痛み、涙目、充血を含む弱い眼刺激を引き起こす可能性がある。

皮膚刺激性

直接皮膚に触れると、皮膚の赤み、焼ける感覚を含む弱い刺激を引き起こす可能性がある。

皮膚からの吸収によって悪影響が出たとの報告はない。

呼吸器感作性

情報なし。他のばく露経路で調べた際には、吸入による危険度は低かった。

摂取(飲み込んだ場合):

摂取による中毒の程度は低い(200mg/kg以下)

兆候と症状

過度にばく露した場合の影響としては、鼻や喉や消化器系への刺激、痛み、吐き気、嘔吐、下痢、咳、息切れなどがある。

発がん性

分類できない。

特定標的臓器毒性

分類できない。

症状の後期変化

分類できない。

他の危険有害性

フッ素化合物に対して長期間もしくは繰り返しばく露すると、フッ素症を引き起こすことがある。フッ素症はやせて骨だけになり、骨硬化症(骨密度が異常に高くなって起こる)

と骨軟化症(骨をやわらかくす)、さらには、歯のエナメル質形成期にばく露すると、エナメル質がまだらに脱色する。

症状には、骨と関節の痛み、また可動域の制限が含まれる。

この原料には、組成不明の鉄化合物が含まれる。

過度なばく露の影響としては、眼と呼吸器官への刺激、じん肺症(肺うっ血)、間質性肺炎(肺炎)、咳、嘔吐、下痢、腹痛、黄疸等がある。

この原料は硝酸塩を含む。硝酸塩は腸内細菌によって還元され亜硝酸塩に変わることがある。もし吸入した場合には、亜硝酸塩が血液(メトヘモグロビン血症)と血管(血管拡張と血圧低下)に影響を及ぼすことがある。

毒性の症状には、頭痛、失神、疲労、チアノーゼ、錯乱、不整脈、そして呼吸麻痺が起こることがある。心臓病を持病に持っている場合は、硝酸塩へのばく露により悪化することがある。

注意すべき既往歴:
環境に対する有害性

心臓病

水生環境急性有毒性 分類できない

水性環境慢性有毒性 分類できない

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別 :混合物

名称	CAS No.	含有率
りん酸二アンモニウム	7783-28-0	99.7~99.8%
鉱油	72623-86-0	上杭工場品 0.18~0.20% 馬場坪工場品 1回目:0.15~0.17%、2回目:0.03~0.05% 開燐工場品 1回目:0.24~0.27%、2回目:0.03%

4. 応急措置

目に入った場合

もし痛みや赤みがひどくなる場合には、ばく露から離し、空気の新鮮な場所に移す。清浄な水で15分以上洗う。なお症状が続く場合には、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された靴と服を脱いで、患部を徹底的に刺激の少ない石鹸で洗浄する。もしジリジリとした痛み、発赤が続く場合には医者への診断、手当てを受ける。

吸入した場合

呼吸が困難な場合には、ばく露から離し、空気の新鮮な場所に移す。症状がなお続く場合には医師の診断、手当てを受ける。もし息をしていない場合には、気道を確保し、直ちに人工呼吸を行なう。もし呼吸の回復が困難な場合には、専門の資格ある人員に酸素吸入をさせ、応急治療を求める。

飲み込んだ場合

初期救助は通常必要ない。もし飲み込んで症状が出た場合には、医者への診断を求める。無理に嘔吐させない。

医師に対する特別注意事項

多量の硝酸塩は重篤な血管拡張と低血圧を引き起こす。虚血性心臓病の持病がある場合には、病状を悪化させることがある。硝酸塩の大量摂取は、メトヘモグロビン血症を引き起こすことがある。もしチアノーゼが生じた場合にはメトヘモグロビン血症を引き起こしている疑いが高い。

メチレンブルー(1-2mg/kg、静脈注射数分以上)は、メトヘモグロビン症の兆候に有効な対応処置である。

5. 火災時の措置

燃焼特性

引火点:適用なし

燃焼クラス:適用なし 発火点:適用なし

異常な火災と爆発の危険性

DAPIは水や蒸気につれて154℃以上になると、有害で刺激性のアンモニアやフッ化物を発生する。乾燥と加熱を急速に行なった場合、154℃以上でDAPIはアンモニアを生ずる。

消火剤

周辺火災に応じた消火剤を使い、過度の放水を避けて水の流出を最小限に抑える。

消火についての指示

火災が初期消火の段階を超えた場合、危険の場所にいる応答者はバンカーギア(消防服)を着て対応する。潜在的危険性が知られない場合には、立ち入り禁止区間或いは限られた区間では、自給式の呼吸器具を装着しなければならない。さらに、必要に

応じて他の適切な防護器具を装着する(「8.ばく露及び保護措置」を参照)。

6. 漏出時の措置

- ・風上に留まり、こぼれた場所から離れる(粉塵に危険性あり)。
- ・『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、呼吸の防護を含む適切な防護用具を装着する。
- ・こぼれた原料が下水管、排水溝、その他許可されていない排水システムや自然の水系に入ることを防ぐ。
- ・必要に応じて地方自治体に知らせる。
- ・粉塵の発生を最小限にする。
- ・適切に清掃・梱包して処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|------------|--|
| 取扱い | 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、適切な呼吸防護器具を使うこと。取扱いの後は、徹底的に手を洗うこと。汚染された服と靴を洗う。衛生習慣を実践すること。 |
| 保管 | 容器は密閉し、製品の品質を守るため、冷涼な、乾燥した通気性の良い場所に可能な保管をする。容器は認められた容器のみを使う。混合してはいけない原料からは引き離す。容器を物理的ダメージから守る。 |

8. ばく露防止及び保護措置

- ・管理濃度:未設定
- ・許容濃度:未設定
- ・換気システム:一般に、希釈のための換気は、この製品による健康危険を抑制するのに適切である。しかしながら、条件使用により作業者が不快になった場合には、局所的な排出システムが必要となる。

- ・個人用防護マスク(NIOSH国立労働安全衛生研究所承認):

粉塵にさらされる所での使用の条件は、技術的抑制は現実的ではなく、特別なマスク(NIOSHタイプ95かそれよりも良いフィルター)の装着である。もし油の粒(潤滑油、切削油、グリセリン他)が顕れる場合には、NIOSHのタイプRかPのフィルターを使う。被ばくの程度が分からない緊急か即の場合には、顔面全覆の圧力のある、空気供給のマスクを使う。警告:空気清浄のマスクは酸欠環境下では、作業者を守ることができない。

- ・皮膚の防護 皮膚への接触を避けるために、長靴、手袋、白衣、エプロン、つなぎ作業着など防護にふさわしいものを着用する。

- ・目の防護 粉塵が舞う場所では、安全なゴーグルを装着し、顔面全体を覆うようにする。

目の洗浄用の水道、速乾の設備を作業領域に配備する。

9. 物理的及び化学的性質

特段断わりのない限り、20℃1気圧での条件とする。

形状	固体
外観	黄色、白っぽい、灰色、黒の粒または粉
におい	僅かなアンモニア臭
引火点	情報なし
燃焼性/爆発限界(%)	情報なし
自動発火温度	情報なし
純品の分子量	132.055
pH	1%溶解あたり 7.4-8
蒸気圧(mm Hg)	0.9@167° F(75°C)
蒸気密度(空気=1)	情報なし
沸点	情報なし
凝固点/融点	融解前に310° F(155°C)で分解し始める。
溶解度	水: (68-70g/100ml@20°C)
比重	1.5-1.7
変動性	2年以上の長期保管の中で、アンモニア8%まで漸減していく
比重	粗充填にて58~60/lbs/ft ³ (930~960kg/m ³)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の保管と取扱い条件下では安定 長期保管の場合、アンモニアが8%まで減少する。310° F(155°C)で分解する。吸湿性である(湿度82%以上のとき、吸湿する)
危険有害反応可能性	マグネシウム、次塩素酸ナトリウムとの激しい反応を避ける
混触危険物質	アルカリと熱を避ける
危険性のある有害生成物	分解温度まで熱すると、りん酸、酸化窒素類(NO,NO2, NOx, アンモニアの蒸気)が発生する。
腐食性	鉄、軟鋼類(スチール、アルミニウム、亜鉛、銅)を腐食させる。
付加重合性	起こり得ない

11. 有害性情報

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

- ・水生環境急性有害性:情報なし
- ・水生環境慢性有害性:情報なし
- ・オゾン層への有害性:当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物:廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- 汚染容器および包装:容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国連分類	非危険物
国連番号	非危険物

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物

特別な安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐植、水濡れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

15. 適用法令

肥料法:輸入登録肥料

労働安全衛生法:名称等を通知すべき対象物質

16. その他の情報

SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、本会はSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。